

⑦ みんなの心に響いた婦人会活動

和水町地域婦人会主催映画上映会



▲小さなお子さん連れでも安心して映画を見れるように、託児所も用意されました。

11月23日（木）、和水町ふれあい会館で、和水町地域婦人会の主催で、佐賀の「がばいばあちゃん」の映画上映会が開催されました。

今回、はじめての企画となった映画上映会は、昼の部・夜の部とも幅広い年齢層の方々で会場はいっぱいになり、みんなで感動のひとつときを過ごしました。映画上映後にはアンケート調査が行われ、地域婦人会に対しての意識、また、今回の企画に対する感想や映画の感想など、たくさんの喜びの声をきくことができ、会員一丸となって取り組んだ活動の成果を充分かみしめました。これからも組織の拡充に努め、地域社会の中で少しでも役に立つよう、元気な婦人会活動を展開していくことです。

⑥統計調査に貢献

国勢調査総務大臣表彰



▲受賞された上原ちえさん(左)、平金吾さん(右)

12月6日（水）、熊本県庁で開催された熊本県統計功労者表彰式で、平金吾さん（板楠）、上原ちえさん（和仁）が国勢調査総務大臣表彰として受賞されました。

平さんは、多年にわたり国勢調査指導員を歴任され、調査が円滑に遂行できるよう真摯に調査員への確な指導がなされたこと。また、上原さんは国勢調査調査員として、調査遂行が円滑にでき、他の調査員の模範となっていることが評価され、それぞれ表彰されました。

受賞おめでとーございます。

③連携したまちづくりで地域活性化！

熊本県立大学と包括協定調印式

11月13日（月）、本町と熊本県立大学とが包括協定を締結しました。

様々な分野で相互に協力することを目的とするものです。

この協定は、本町と熊本県立大学とが連携して、本町の地域づくり、人材育成や教育振興、環境保全などの検討や実践のために

調印式には、本町から坂梨町長と相澤教育長、熊本県立大学からは養茂^{みの}理事長と米沢学長が参加して行われました。



▲強い握手を交わす蓑茂理事長と坂梨町長

町長が『県立大学の協力を得ながら、人材育成や教育システムの研究を始め、本町の立地や自然、文化などを生かした町づくりを進め、「合併してよかった。住んでよかった」と、言える町を目指したい』と挨拶しました。また、熊本県立大学の養茂理事長は「熊本県立大学は地域をフィールドとして学生を教育していきたいと考えており、和watami町の自然環境、文化や歴史、地域づくりなどを本学のキャンパスとして利用させていただくとともに、大学の資源を活用してください」と、挨拶しました。

④ 雑巾・タオルありがとうございました

菊水地区老人クラブ女性部



▲菊水地区老人クラブ女性部のみなさん

今年も、中央公民館に菊水地区老人クラブ女性部会員の方々から雑巾・タオルをいただきました。早速12月20日、自主グループの方々の中央公民館掃除に使わせていただきました。ありがとうございました。

⑤ あつあつのおでんをどうぞー！

高齢者におでん宅配



▲おでん宅配の様子

者82世帯におでんの宅配を行いました。

当日は、朝早くから大根や厚揚げ、たまごなどの具材6種類を大鍋で一緒に煮炊きしたあと、パックにつめ、手作りのあつあつおでんを団員が手渡しで高齢者に届けました。

※高齢者に、「おでんを食べ
て温まり長生きしてもらおう」と、10年以上前から実施
寒いこの時期の恒例となっ
ています。

⑧ 目指せ！オリンピック選手！

第6回金栗四三翁杯なごみ子ども駅伝大会



▲みんな一斉にスタート！

12月2日（土） 和木町陸上競技協会の主催で、金栗四三翁杯なごみ子ども駅伝大会が三加和公民館周辺特設コース（6区間8・6km）で開催されました。

この大会は、1本のタスキわたしを通して、子ども達に走る楽しさを体験してもらうと共に、苦しさを乗り越えてがんばる力を付け、たくましく育ってもらおう

と平成13年から開催されています。

また、大会名称には、日本で最初のオリンピックに出場した、日本マラソンの父「金栗四三翁」の名を付け、第2、第3の金栗四三翁の誕生を願って毎年開催されているものです。

和水町最初の大会となつた今大会は、過去最多の21チームが出場し、和水町内各小学校の子ども達が健脚を競いました。

午前10時にスタート。白い息を吐きながら颯爽と走る子ども達に、応援にかけたお父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、の熱い声援が、終始止むことはありませんでした。

上位の結果は次のとおりです。

1位 春富スリート
2位 緑小MBC
3位 神尾バンクスランナーズ
4位 緑MJFC
5位 春富ホークス
6位 中央石人ファイターズ